

●デコスSDGs number

3 すべての人に健康と福祉を

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

15 陸の豊かさを守ろう

17 パートナーシップで目標を達成しよう



●目標3(すべての人に健康と福祉を)

3 すべての人に健康と福祉を

■ 取組み内容

快適な居住環境を提供するため、夏は涼しく冬は暖かい断熱性能を持つ「デコスファイバー」を開発。

また、隙間なく断熱工事が出来る独自の乾式吹込み工法「デコスドライ工法」を開発。これにより、健康的でストレスの少ない室内環境を実現。

カビや結露を防ぐ断熱材の調湿性能により、住まい手の健康リスクを軽減し、建物の長寿命化を図る。

■ 取組み開始時期

- 1996年:OEMにて断熱事業開始
- 1997年:デコスドライ工法開発
- 1999年:デコスドライ工法施工代理店制度開始
- 2005年:山口工場設立、デコスファイバー自社製造開始
- 2016年:熊本地震で快適な仮設住宅を提供し、被災者の健康と福祉に貢献



●目標7(エネルギーをみんなに、そしてクリーンに)

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



■取組み内容

冷暖房エネルギーを削減するエコハウスを推進します。
製造時に石油燃料を使わず、電力のみで製造することで、製造時のCO₂排出量を削減。

■取組み開始時期

2005年:山口工場設立、石油燃料を使わない製造体制の確立
2011年:カーボンフットプリント(CFP)認証取得により、デコスファイバーのライフサイクルCO₂を見える化



●目標11(住み続けられるまちづくりを)

11 住み続けられる
まちづくりを



■取組み内容

事前の壁体内結露判定を行うことで内部結露を防ぎ、住まい手の健康リスクを軽減し、建物の長寿命化を図る。

熊本地震や熊本豪雨災害、能登半島地震の際に、木造応急仮設住宅にデコスファイバー採用。

仮設住宅としての利用後も恒久利用出来る公営住宅として活用。

■取組み開始時期

1999年:木造住宅壁体内結露被害20年保証制度開始

2016年:熊本地震木造応急仮設住宅563戸にデコスファイバー採用

2020年:熊本豪雨災害木造応急仮設住宅612戸にデコスファイバー採用

2024年:能登半島地震木造応急仮設住宅623戸にデコスファイバー採用



●目標12(つくる責任、つかう責任)

12 つくる責任
つかう責任



■取組み内容

使用済みの新聞紙をリサイクルし、建築用断熱材としてアップサイクルする取組みを展開。製品の品質管理基準となるJIS(日本産業規格)認証を取得。

山口工場、関東工場ともに製造時の工場廃棄物を100%リサイクル、ゼロエミッションを達成。両工場ともに県が定めるエコ・ファクトリー認定取得。

全国に施工代理店制度を構築し、断熱施工技術者を育成、責任施工を行う。

製品品質と施工品質を担保することで、木造住宅壁体内結露被害20年保証制度を実現。

■取組み開始時期

1999年:デコスドライ工法施工代理店制度開始

1999年:木造住宅壁体内結露被害20年保証制度開始

2005年:山口工場設立、デコスファイバー自社製造開始

2007年:山口工場JIS A 9523認定取得

2013年:関東工場設立、デコスファイバー製造開始

2013年:関東工場JIS A 9523認定取得

2013年:関東工場埼玉県彩の国工場指定

2014年:山口工場エコ・ファクトリー認定



●目標13(気候変動に具体的な対策)

13 気候変動に
具体的な対策を



■取組み内容

断熱材の高い性能で冷暖房の使用を抑え、CO₂排出量を削減。

デコスファイバーのライフサイクルCO₂を見える化により環境活動を推進。

カーボンオフセットを実施し、実質的にCO₂排出ゼロの断熱材を実現し提供。

■取組み開始時期

2011年:CFP認証取得によりCO₂排出量を見える化

2012年:カーボン・オフセット活動を開始



●目標15(陸の豊かさも守ろう)

15 陸の豊かさも
守ろう



■取組み内容

再生可能な紙資源を活用し、森林伐採を削減。
木造建築と相性のよい断熱材を開発し、自然素材を活かした住まいを推進。

■取組み開始時期

1996年:リサイクル紙を原料とする断熱材で事業開始
2005年:山口工場設立、デコスファイバー自社製造開始



●目標17(パートナーシップで目標を達成しよう)

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



■取組み内容

全国の施工代理店と連携し、断熱施工技術の共有と技術者育成を実施。
産官学または、産学連携により正しい断熱知識や最新の知見を取得し公開。
地域社会や自治体と協力し、新聞紙回収やエコ活動を推進。

■取組み開始時期

1996年:新聞紙をリサイクルした断熱材で事業開始
1996年:デコスドライ工法施工代理店制度開始
2000年:JCA日本セルロースファイバー断熱施工協会顧問として大学教授他就任
2005年:地域と連携した新聞紙回収システムを山口工場を導入
2013年:京都府立大学・九州大学へセルロースファイバー断熱材の調湿性研究委託





DECOS DRY